

(4) 教育普及事業

1. 事業の基本的な考え方

展示解説、普及活動等を行う教育普及事業は、調査・収集・整理・保存・展示・研究などの諸活動とともに、文学館活動の中で重要な位置を占める。県民のニーズに対応し、社会教育・学校教育との連携を図るなかで、文学専門の博物館としての特殊性を生かし、年間を通しての文学講座の開催、講演会の開催、文学的に価値ある映画の上映、朗読鑑賞会、県内の文学ゆかりの地を訪ねる文学散歩を行うなど、県民や来館者の生涯にわたる学習がより一層進展するように学習支援を行っていく。

また、山梨ゆかりの作家や作品の資料を活用した学習プログラムや子ども向け事業の充実を図ることは、郷土への関心を高め、郷土を愛し、郷土に誇りを持てるような心情を育むという点からも重要であると考え。子どもから大人までの幅広い県民の文学活動の中心となり、文化の発信拠点を目指す。

2. 教育普及活動の内容

(1) 平成24年春企画展 夏・秋の特設展 関連教育普及事業

企画展のテーマを詳しく解説し、展示では扱えなかった視点から考察を加えるとともに企画展そのものへの理解を深められるように実施する。外部講師及び職員による講演会・講座などを通して文学を学ぶ機会とする。

具体的には

- ①外部講師及び職員による講演会・文学講座事業を実施する。
- ②啄木カルタ会を実施する。
- ③ギャラリートーク（展示解説）は、土、日を中心に行う。その他、展示解説は要望により随時実施する。
- ④県内の小・中・高の教師を対象に春と秋の企画展・特設展に関わって、文学館職員による説明と観覧を通して、国語教育への活用を図るよう、教師のための学習会を行う。
- ⑤企画展・特設展チャレンジクイズ
楽しみながら企画展の内容が学べる小中学生対象のクイズを作成。「チャレンジクイズ」を通して、文学や作家について学ぶ機会を提供する。
春の企画展「石川啄木—愛と悲しみの歌—」夏の特設展「フランダースの犬 ～愛と友情の物語～」及び秋の特設展「歿後五十年 飯田蛇笏展」に関連して、作家・研究者・関係者による講演会や関連講座を行った。

(2) 山梨の文学講座

県立文学館・NPO・公益社団法人やまなし観光推進機構・県学術文化財課で実行委員会を組織し、コースにあたる市町村の協力のもと開催している。平成24年度は、企画展観覧後に文学ゆかりの地を散歩する「河口湖畔の文学散歩」を実施した。

(3) 年間文学講座

年間文学講座は平成2年度から実施している。県民の興味・関心に応じて幅広く学べるよう配慮し、テーマ設定に当たっては講師の専門性を生かすとともに、県民のニーズに対応できるよう、土・日や平日にも開講した。

平成24年度は、外部講師による「古典文学講座（全8回）」と「近代文学講座（全8回）」の2講座と当館の学芸課の職員が講師を務める「山梨の文学講座（全5回）」を実施した。

講座1のテーマは「源氏物語を読む」、講座2のテーマは「『夏目漱石』再読—〈近代的自我〉と人間関係論の視点から—」、講座3は、当館の展示作家を中心に、山梨出身・ゆかりの文学と人についての講座を実施した。

(4) 名作映画鑑賞会

文学作品を映画化した名作の数々を上映し、文学と映画の関わりについて考え、作品をより深く理解してもらうための企画である。平成2年から毎年実施し、企画展開催期間中には関連映画鑑賞会を実施する。平成24年度は一般向け映画5回、子ども向け映画を2回、全7回実施した。

(5) 朗読公演会

文学作品（詩・小説など）の魅力を朗読公演によって鑑賞する一般向けの企画を1回実施する。これは、開館の年から毎年開催、幅広い年齢の聴衆から大変好評を博している。平成24年度は、朗読公演会「樋口一葉 恋の和歌」を11月に実施した。また、幼児、小学生から大人まで、家族で朗読に親しみ、文学に触れる「お話の森朗読会」を2回実施した。

(6) 文学創作教室

俳句をはじめ短歌や詩、エッセイなどの創作を通じて文化活動を推進する。小・中・高校生をはじめ広く県民を対象に、文学創作講座を実施する。平成24年度は、小説教室と短歌教室2回（一般と高校生）を開催した。

(7) 山梨の文学解説講座（出前講座）

この講座は、学芸課の職員が、要請された市町村等に関連のある県出身・ゆかりの文学者の人と作品を紹介する講座である。当館の研修室・講堂等あるいは市町村等において、説明・講義した。

(8) 教師のための学習会開催

県内の小・中・高校の教師を対象に春と秋の企画展に関わって、文学館職員による説明と観覧を通して、国語教育への活用を図った。

(9) 児童生徒向け事業について

将来の山梨を担うことになる子どもたちに、山梨ゆかりの文学と文学者について学びきっかけを作る。学校教育との連携を深め、文学を通して豊かな心を育てていく。

① 文学教室

年間を通じ、随時開催する。小学校、中学校、高等学校の要請に応じ、当館が展示する内容について、当館の研修室・講堂等、あるいは各小中学校、高等学校において、当館所蔵の視聴覚資料等を活用し説明・講義する。

② 子ども名作映画会

当館講堂において、夏休み（2回）の期間中に良質の映画の上映を行う。

③ お話の森朗読会

朗読は、子ども達により楽しく、親しみをもって文学を身近に感じてもらえる機会となる。県内で活躍する朗読指導者等の協力を得て土曜日を実施し、低年齢の子どもから大人まで、家族や親子で朗読に親しむ機会とする。平成24年度は、6月、8月、計2回実施した。

④ 子どもワークショップ

子どもを対象とした参加型・体験型の教室を開催し、文学を身近に感じ、文学や文学者に興味を持ってもらう機会とする。平成24年度は、夏の特設展「フランダースの犬 ～愛と友情の物語～」に関連して、犬の消しゴムはんこづくり、日本の伝統的なことばと文化に触れる歌舞伎体験ワークショップ、狂言講座を実施した。また、冬にはクリスマス会及び百人一首教室を実施した。

⑤ 学習ガイド（ジュニアガイドブックと教育普及用資料集）

県出身又はゆかりの文学者、作品について、小中高生の理解を深めるために、文学者、作品についての教育普及資料集を作成する。

平成24年度は常設展示室に展示されている山梨県出身およびゆかりの文学者について、わかりやすく解説したジュニアガイドブックを改訂した。

⑥ チャレンジ文学館

常設展を見に来た子どもたちが、ポイントをつかんで楽しく観覧できるように、常設展クイズ「わたしはだあれ？」を実施している。また、芸術の森公園内に、俳句や詩、短歌や童謡、小説やエッセイの一節を書いた24本の柱を立て、「文学の柱追跡散歩」としてクイズを実施する。さらに、今年度も夏休みフリーパスポートの活用により、夏休み期間中は「夏休みチャレンジ文学館」として、子どもたちへの浸透を図ってきた。

⑦ 企画展チャレンジクイズ

楽しみながら企画展の内容が学べる小中学生対象のクイズを作成。「チャレンジクイズ」を通して、文学や作家について学ぶ機会を提供する。

⑧ ジュニアインターンシップ（職場体験）・インターンシップ

子どもたちの職業観・勤労観を、より早い段階から育成するとともに、将来、自らの進路を自分自身で選択できる能力を育てていくことが課題となっている。文学館としても、中・高校生の職場見学やジュニアインターンシップを積極的に受け入れ、若年者の職業意識形成支援に積極的に取り組む。平成24年度は、大学生のインターンシップも受け入れた。

⑨ 学習資料の貸与

要請により、学校をはじめ、生涯学習事業等に対して館作成資料の一部を学習資料として貸与している。

⑩ 移動文学館

平成23年度より、展示の内容を分かりやすくコンパクトにまとめたパネルなどのセットを、県内の学校へ貸し出す移動文学館を始めた。平成24年度は、春の企画展「石川啄木展」に関連して、啄木を紹介するパネル3枚・啄木等身大パネル・啄木短歌10首のパネルを作成し、広く県内の小中高等学校へ貸し出しを行った。

(10) やまなし文学賞について

「樋口一葉生誕」を記念して、小説部門・評論部門に分け、募集している。広く全国、また海外からも応募がある。第21回に当たる平成24年度は、小説部門では316点の応募があった。

平成24年度 教育普及事業の実施状況

| 分 類 | 内 容 講 師 等 | 開 催 日 ・ 会 場 等 | 参 加 人 数 |
|-------------------------------|--|--|-----------------------------|
| 文学講座 1 | 「源氏物語を読む」1～8回 池田尚隆(山梨大学教授) | 木曜日 14:00～90分間 年8回 研修室 | 全8回 982人 平均 123人 |
| 文学講座 2 | 『夏目漱石』再読 —〈近代自我〉と人間関係論の視点から— 小菅健一(山梨英和大学教授) | 土曜日 14:00～90分間 年8回 研修室 | 全8回 890人 平均 111人 |
| 文学講座 3 | 「山梨の文学」 飯田龍太 —俳句と季節— 井上康明(当館参事) 富士北麓と文学 小石川正文(学芸幹) 深沢七郎の語り 古川順子(主任・教育主事) 山廬を訪れた人々 —飯田蛇笏をめぐる文人たち— 高室有子(学芸員) 芥川龍之介書簡の魅力—館蔵資料を中心に— 保坂雅子(学芸員) | 木曜日 14:00～70分間 年6回 研修室 6 / 14(木) 7 / 12(木) 9 / 27(木) 11 / 1(木) 12 / 6(木) | 全5回 235人 平均 47人 |
| 3講座参加者合計 | | | 2107人 |
| 春 企画展関連事業 「石川啄木 ～愛と悲しみの歌～」 | 講演会「啄木の詩について」 講師 中村稔 (詩人・日本近代文学館名誉館長) 文学講座「わが愛誦 啄木十八首」 近藤信行(当館館長) 文学講座「啄木の手紙 展示資料より」 中野和子(学芸員) 講演会「啄木の短歌について」 講師 佐佐木幸綱(歌人) 教師のための学習会 中野和子(学芸員) | 5 / 20(日) 研修室 6 / 3(日) 研修室 6 / 23(土) 講堂 6 / 7(木) 研修室 | 135人 103人 400人 16人 |
| 春の企画展関連事業 参加者合計 | ギャラリートーク 11:30～ 15:30～ | 19回 | 252人 906人 |
| 夏の特設展 | 消しゴムはんこで犬のポストカードを作ろう 高橋裕子(青少年ペンフレンドクラブアドバイザー) 「しらざあ言って聞かせやしよう!体験!」 歌舞伎ワークショップ 市川喜昇(歌舞伎俳優) | 8 / 3(金) 研修室 8 / 8(木) 美術館総合 実習室 | 50人 55人 |

| | | | |
|---|--|------------------------|-------|
| 夏の特設展 | 「大人も楽しめる！体験！『狂言』講座」 高野和憲(狂言師) | 8 / 17(金) 美術館総合 実習室 | 58人 |
| | 子ども映画会 アニメ「宗谷物語 一南極への挑戦」 | 7 / 22(日) 講堂 | 160人 |
| | 子ども映画会「少年の日の思い出」 | 8 / 19(日) 講堂 | 50人 |
| | 人形アニメ 「ミッフィーとお友だち」なかよしうれしいな | 8 / 4(土) 講堂 | 160人 |
| | 人形アニメ 「ミッフィーとお友だち」ふしぎねどうして | 8 / 11(土) 素心菴 | 130人 |
| | 第2回お話の森朗読会 | 8 / 23(土) 素心菴 | 120人 |
| 特設展関連事業 参加者合計 | 「特設展チャレンジクイズ」 | 会期中展示 文学館 | 1984人 |
| | | | 2767人 |
| 秋 特設展関連事業 「歿後50年 飯田蛇 笏展 くろがねの秋 の風鈴なりにけり」 | 講演会「裏口に展がる世界」 宇多喜代子(俳人) | 9 / 30(日) 講堂 | 270人 |
| | 鼎談「飯田蛇笏を語る」 浅井一志・和田知子・廣瀬町子 | 10 / 7(日) 研修室 | 140人 |
| | 講座「山廬を訪れた人々 一飯田蛇笏をめぐる文人たち」 高室有子(学芸員) | 10 / 11(木) 研修室 | 100人 |
| | 教師のための学習会 高室有子(学芸員) | 10 / 4(木) 研修室 | 16人 |
| | 山梨文学散歩 | 10 / 20(土) | 42人 |
| | 山梨文学散歩 | 10 / 28(日) | 43人 |
| 秋の特設展関連事業 参加者合計 | ギャラリートーク | 21回 | 248人 |
| | | | 859人 |
| 名作映画鑑賞会 | 「夫婦善哉」 | 5 / 27(日) 講堂 | 350人 |
| | 「泥の河」 | 6 / 24(日) | 280人 |
| | 子ども映画会 アニメ「宗谷物語 一南極への挑戦」 | 7 / 22(日) | 160人 |
| | 子ども映画会「少年の日の思い出」 | 8 / 19(日) | 50人 |
| | 人形アニメ 「ミッフィーとお友だち」なかよしうれしいな | 8 / 4(土) | 160人 |
| | 人形アニメ 「ミッフィーとお友だち」ふしぎねどうして | 8 / 11(土) | 130人 |
| | 「愛染かつら」 | 9 / 16(日) | 300人 |
| | 「聖職の碑」 | 10 / 21(日) | 210人 |
| | 「雪国」 | 11 / 11(日) | 250人 |
| | 参加者合計 | | 1890人 |
| 朗読鑑賞会 | 朗読公演会ひとりオペラ「樋口一葉恋の和歌」 | 11 / 23(金) 講堂 | 220人 |
| 文学創作 プログラム | 小説教室「私の小さな本棚」 佐伯一麦(作家) | 7 / 1(日) 研修室 | 91人 |
| | 短歌教室 | 2 / 2(土) 研修室 | 35人 |
| | 三枝浩樹(歌人) | 2 / 15(金) 研修室 | 26人 |
| 参加者合計 | | 152人 | |
| お話の森朗読会 | 第1回お話の森朗読会 | 6 / 9(土) 素心菴 | 120人 |
| | 第2回お話の森朗読会 | 8 / 23(土) 素心菴 | 110人 |
| 参加者合計 | | 230人 | |

| | | | |
|--------------------------------|-------------------------|--------------|------------------------------------|
| 子どもワークショップ | クリスマス会 | 12/ 8(日) 研修室 | 55人 |
| | 百人一首教室 | 1 / 5(土) 素心菴 | 45人 |
| 参加者合計 | | | 100人 |
| チャレンジ文学館 | 幼児 | | 89人 |
| | 小学生 | | 1784人 |
| | 中学生 | | 1218人 |
| | 高校生 | | 425人 |
| | 大人(大学生を含む) | | 240人 |
| 参加者合計 | | | 3756人 |
| 読 書 会 | 石川啄木「一握の砂・悲しき玩具」 | 5 /13(土) 研修室 | 16人 |
| | 太宰治「きりぎりす」外 | 6 /23(土) | 15人 |
| | 芥川龍之介「羅生門・鼻」外 | 7 /21(土) | 11人 |
| | 村上春樹「ノルウェイの森」上下 | 8 /26(日) | 10人 |
| | 朝田武史「祝人伝」 | 9 /15(土) | 10人 |
| | 井伏鱒二「萩窪風土記」 | 10/14(日) | 16人 |
| | 藤原正彦「祖国とは国語」 | 11/18(日) | 14人 |
| | 宮部みゆき「かまいたち」 | 12/23(日) | 15人 |
| | 林真理子「知りたがりやの猫」 | 1 /19(土) | 14人 |
| | 山本周五郎「あんちゃん」外 | 2 /16(土) | 15人 |
| | 黒田夏子「abさんご」 | 3 /17(日) | 13人 |
| | 参加者合計 | | |
| ジュニアインターンシップ (就業体験受け入れ) | 高等学校 2校 | | 8人 |
| | 中学校 6校 | | 12人 |
| | 大 学 1校 | | 2人 |
| 学芸員実習 | 大 学 2校 | | 3人 |
| 参加者合計 | | | 25人 |
| 山梨の文学解説講座 (講師派遣) (一般・学校) | 小学校 9回 | | 小中高特 362人 一般 1600人 全 回 1962人 |
| | 中学校 2回 | | |
| | 高等学校 2回 | | |
| | 一 般 29回 | | |
| 参加者合計 | | | |
| 文 学 教 室 | 展示解説 | | 小中高特 3636人 一般 667人 全 回 4303人 |
| | 小学校 18校 | | |
| | 中学校 59校 | | |
| | 高等学校 20校 | | |
| | 適応教室 0校 | | |
| | 大 学 8校 | | |
| 一 般 39回 | | | |
| 参加者合計 | | | |
| そ の 他 | 夏休み来館促進イベント | 37校 | 100人 |
| | 移動文学館パネル展示 | | 17416人 |
| | 夏休み自由研究プロジェクト | | 300人 |
| | やまなし文学賞(小説316 研究・評論121) | | 437人 |
| | リーディングシアター2012 in文学館 | | 250人 |
| 参加者合計 | | | 18503人 |

(5) 刊行物の記録

① 山梨県立文学館館報 (A4版8頁) 寄稿文及び資料翻刻一覧

87号 2012(平成24)年6月20日発行

【寄稿】 村岡花子の青春 村岡恵理(赤毛のアン記念館・村岡花子文庫主宰)

【資料翻刻】 青柳瑞穂 田中冬二・谷川徹三・小林富司夫・中込純次宛書簡

88号 2012(平成24)年9月10日発行

【寄稿】 大きな親ごころ 廣瀬町子(俳人)

【資料紹介】 芥川龍之介 久米正雄宛葉書、芥川龍之介・久米正雄 野口真造宛葉書、
『近代日本文藝読本』縁起・序・凡例原稿ほか

89号 2013(平成25)年3月20日発行

【寄稿】 富士山と文学 城崎陽子(國學院大學兼任講師)

② 企画展・特設展図録 寄稿一覧

石川啄木展 愛と悲しみの歌

石川啄木

釧路の啄木

啄木散文の魅力

最高の時宜を得た企画 ——啄木没後百年に思う——

敗北の悲歌

暮らしの中の歌 ——啄木が切り拓いたもの

そうだ、そんなことがある……啄木の歌について

中村 稔

尾崎左永子

平岡 敏夫

近藤 典彦

中村 稔

三枝 昂之

阿毛 久芳

歿後五十年 飯田蛇笏展

みずみずしい蛇笏

蛇笏の猫手紙

顧みて

両掌に葡萄賜りて

大きな親ごころ

長谷川 權

高室陽二郎

有泉 七種

和田 知子

廣瀬 町子

③ 資料と研究 第18輯 平成25年3月30日発行 A5版253頁

平成24年度企画展・特設展をめぐって

石川啄木 愛と悲しみの歌

石川啄木一詩について

中村 稔

歿後五十年 飯田蛇笏展 くろがねの秋の風鈴鳴りにけり

鼎談 飯田蛇笏を語る

浅井 一志・和田 知子・廣瀬 町子

飯田蛇笏句集『雪峽』草稿について〈付写真版〉

井上 康明・高室 有子

中村星湖 川島順平宛・川島順平 中村星湖宛・椎名其二 中村星湖宛書簡翻刻

小石川正文

中村星湖作成スクラップブック[㊤] その一

三澤麻須美・戸澤きよみ・小林 幸代

芥川龍之介「手帳13」について〈付写真版〉

保坂 雅子

井伏鱒二「釣宿」原稿について〈付写真版〉

中野 和子

(6) 閲覧室の運営

① 閲覧室の設置

山梨県立文学館設置及び管理条例と施行規則に基づき、県民・文学館来館者への資料・情報の提供及び調査・研究に対する助言を主な事業として、閲覧室の運営を行っている。

② 閲覧室の利用

ア 利用時間

平日 午前9時～午後7時

土・日・祝日 午前9時～午後6時

※休館日は閉室

イ 利用手続

書庫内の資料を利用する場合は、「閲覧カード発行申込書」に必要事項を記入し、「閲覧カード」の交付を受ける。閲覧を希望する資料名を「文学資料等閲覧承認申請書」に記入し、受付に申し込む。

ウ 利用対象

文学資料などの調査・研究、読書を目的とした利用とする。

③ 閲覧室の業務

ア 所蔵資料の閲覧・情報提供

閲覧室では文学作品・文学研究書を中心とした図書、逐次刊行物、県内外文芸誌、新聞などを収集し、利用に供している（一部禁閲覧資料あり）。

県内新聞はマイクロフィルム、明治期刊行物はマイクロフィッシュにより提供している。

また、画像情報システムにより、特殊資料の芥川龍之介資料、樋口一葉の「たけくらべ」再掲本原稿（複製）、中村星湖「少年行」原稿、山崎方代草稿など実物の閲覧が困難な資料を、画像で閲覧に供している。

イ 文献検索システムによる書誌情報の提供

館所蔵の資料（図書、逐次刊行物、特殊資料、マイクロ資料、視聴資料）は書誌情報をデータ化し、コンピュータ端末で、来館者が自由に検索できるようなっている。

図書データは通常の本誌情報に加え、内容細目もデータ化し、全集・シリーズに収録されている個々の作品名、作者名からの検索も可能である。

逐次刊行物については、一部のものは所載論文名、作品名、執筆者名からの検索もできる。

ウ 調査・相談業務（レファレンス）

閲覧室に寄せられた調査・相談・照会などの依頼に対しては、文献に基づき、司書、学芸員などが対応している。質問は、電話、文書、FAX、電子メールでも受け付けている。

エ 複写サービス

著作権法に基づき、一部の禁複写資料を除き、所蔵資料の複写サービスを行っている。（有料）

図書・逐次刊行物に加え、県内新聞のマイクロフィルムや、明治期刊行物のマイクロフィッシュによる複写サービスも行っている。

オ 朗読テープの利用

朗読テープは文学関係のものを中心に所蔵し、コーナーを設けて利用に供している。

カ 個人研究室・共同研究室の利用

閲覧室内には個人研究室2室、共同研究室2室が併設されており、個人及びグループでの研究・研修などの利用に供している。（有料）

キ ビデオブースの利用

文学館の紹介及び文学資料の情報を多角的に提供するため、閲覧室にビデオブースを併設し、文学館作成のビデオを中心に文学関連の映像資料を提供している。

ク 資料紹介

所蔵する資料は、ほとんどが閉架であり、直接来館者の目にふれることは少ない。そこで収蔵されている図書・雑誌の紹介を目的として、テーマを決めて閲覧室内で「資料紹介」を行っている。

ケ 書庫見学

職員が書庫内を案内し、収蔵資料、保管状況などを解説している（年2回開催）。

コ インターネット利用

当館のホームページでは、利用案内、展示、講座・講演会などの情報提供を行っている。また、ジュニアガイドを設けて、小中学生にも県内出身・ゆかりの文学者をわかりやすく紹介している。

館所蔵の資料の状況は蔵書検索のページで閲覧室と同様に確認できる。OPAC自動横断検索システムから、県内外の大学図書館、県内公共図書館、国立国会図書館や類縁機関と当館の所蔵資料を一度に検索することも可能となっている。

また、平成24年11月から稼働した山梨県立図書館の横断検索システムからも、当館の蔵書を検索できる。

閲覧室事業実施状況

◆ 閲覧室資料紹介

| 回 | タイトル | 展示期間 |
|-----|--------------|-------------------|
| 108 | 石川啄木の世界 | 平成24年 4月27日～6月24日 |
| 109 | みんなで読もう世界の名作 | 7月21日～8月26日 |
| 110 | 飯田蛇笏－歿後50年－ | 9月29日～11月25日 |
| 111 | やまなし文学散歩 | 平成25年 1月14日～4月14日 |

◆ 文学者の誕生日にちなんだ資料紹介

| タイトル | 展示期間 |
|--------------|-------------------|
| 木々高太郎 (5/6生) | 平成24年 4月20日～5月11日 |
| 太宰治 (6/19生) | 6月6日～6月27日 |
| 飯田龍太 (7/10生) | 7月4日～7月25日 |
| 辻邦生 (9/24生) | 9月12日～10月3日 |
| 山崎方代 (11/1生) | 10月24日～11月14日 |
| 檀一雄 (2/13生) | 平成25年 1月23日～2月13日 |
| 芥川龍之介 (3/1生) | 2月20日～3月13日 |

◆ 書庫見学

| 実施日 | 参加者 |
|------------------|-----|
| 平成24年6月16日 | 41名 |
| 平成24年11月20日・県民の日 | 71名 |



書庫見学（平成24年11月20日）



資料紹介「みんなで読もう世界の名作」